

TOTO

台付自動水栓 (シングル混合水栓、AC100V)

TEK34UP型



商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



1. 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)






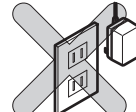
取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。



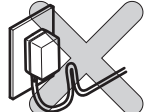








●この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

 警告	
 禁止	ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因になります。 
	指定する電源 (AC100V) 以外では使用しない 火災の原因になります。 
	ACアダプターや駆動部・コントローラーに水をかけない 火災や感電の原因になります。 
	ACアダプターを上下逆に差し込まない 火災の原因になります。 


 警告	
 禁止	ACアダプターおよび電源コードが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。 
	湯水を逆に配管しない 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。 
	駆動部の湯側と水側を逆に取り付け 湯が先に出てやけどをすることがあります。 
 水場使用禁止	給湯温度は60℃より高温で使用しない 高温の湯が出て、やけどをすることがあります。 
	浴室など湿気の多い場所には設置しない 故障や感電の原因になります。 
 必ず実行	ACアダプターをコンセントに差し込むときは根元までしっかり差し込む 火災の原因になります。 
	フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、止水栓または元栓を確実に閉めてから行う また、湯側駆動部が熱くないことを確認する 高温の湯が出てやけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 

1-2.

警告

絶対に分解したり、修理・改造は行わない
火災や感電の原因になります。

分解禁止

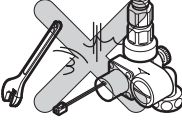



注意

強い力や衝撃を与えない
破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

屋外や凍結が予想される場所には設置しない
故障の原因または、部品が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

禁止

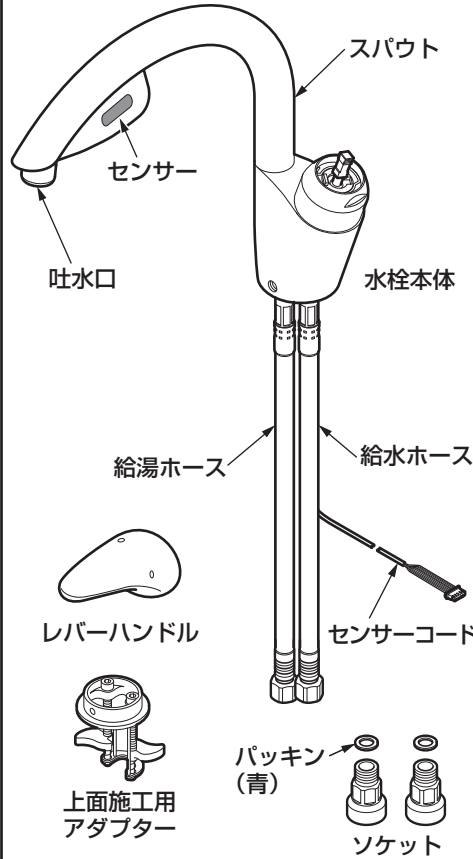
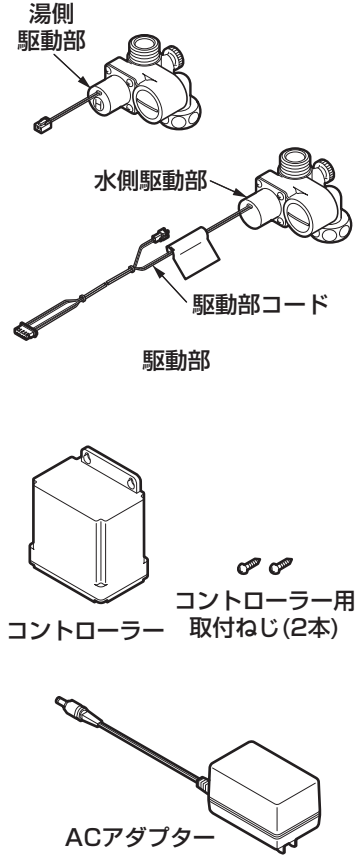
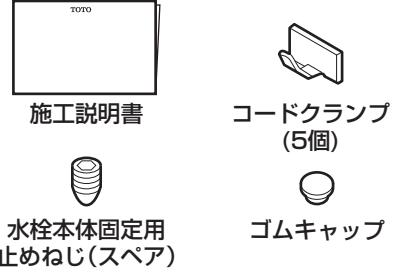
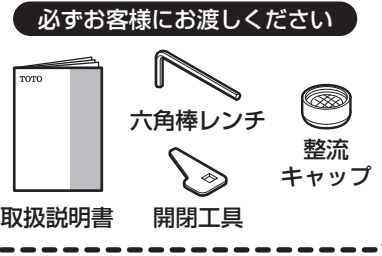



2.仕様

品番	TEK34UP型	
タイプ	センサータイプ	
電源電圧	AC100Vタイプ	
消費電力	待機時	2W
	動作時	4W
給水圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静止時)
使用最高温度	60℃以下	
使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水	
使用環境温度	1~55℃	
電源コード長さ	1.9m	
センサーコード長さ	0.88m	
駆動部コード長さ	0.57m	
給水接続	G1/2	
用途	一般住宅台所用	

3. 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

水栓本体部		駆動部・コントローラー	
その他		<p style="text-align: center;">必ずお客様にお渡しください</p> 	

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

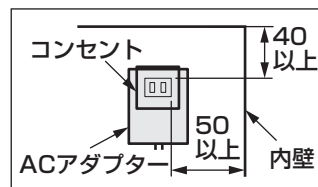
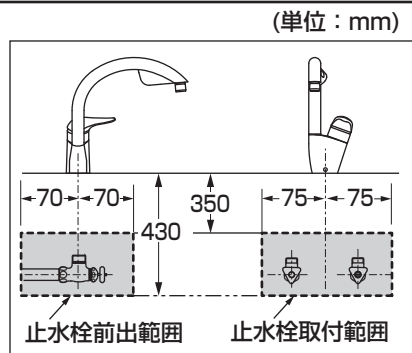
4. 取り付け前に

1. 給水圧力の確認

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。

2. 配管・配線について

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。右図に示す範囲内の止水栓位置にて、施工が可能です。
- 電源はAC100V (50/60HZ)、最高消費電力は4Wです。必ずこれに適した配線をしてください。また、ACアダプターがコンセントより大きい場合がありますので、キャビネットの内壁にぶつからない位置にコンセントを取り付けてください。



3. センサータイプについて

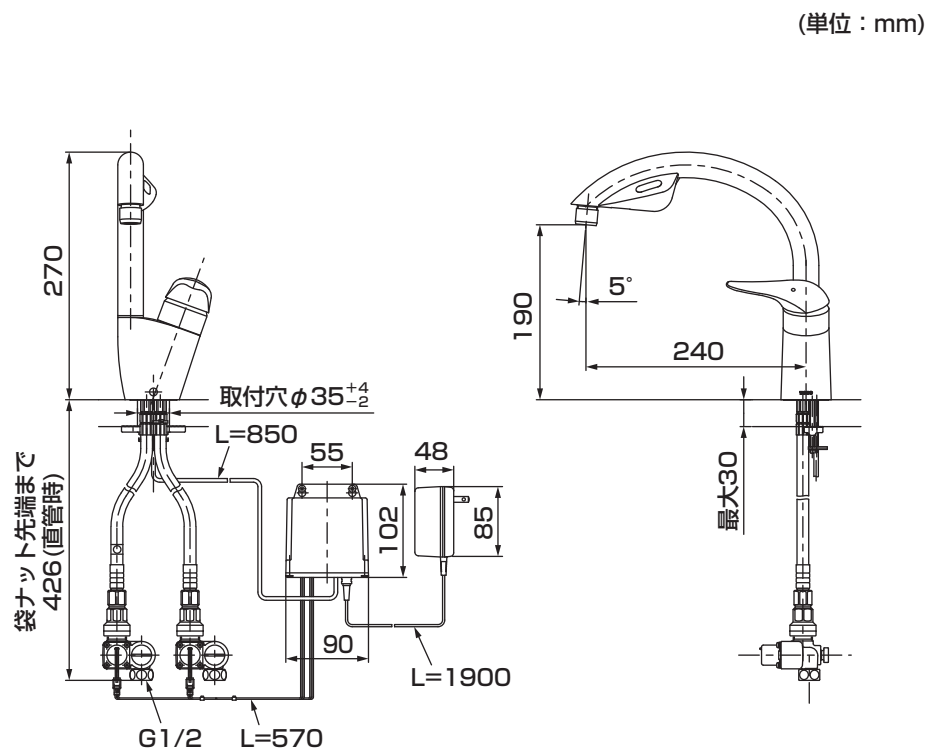
- 水栓の取付面から水栓の上方450mmの範囲に、センサーの感知範囲を覆うような障害物がこないようにしてください。誤作動することがあります。
- センサー面を傷つけないよう十分ご注意ください。
- インバータや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。

4. その他

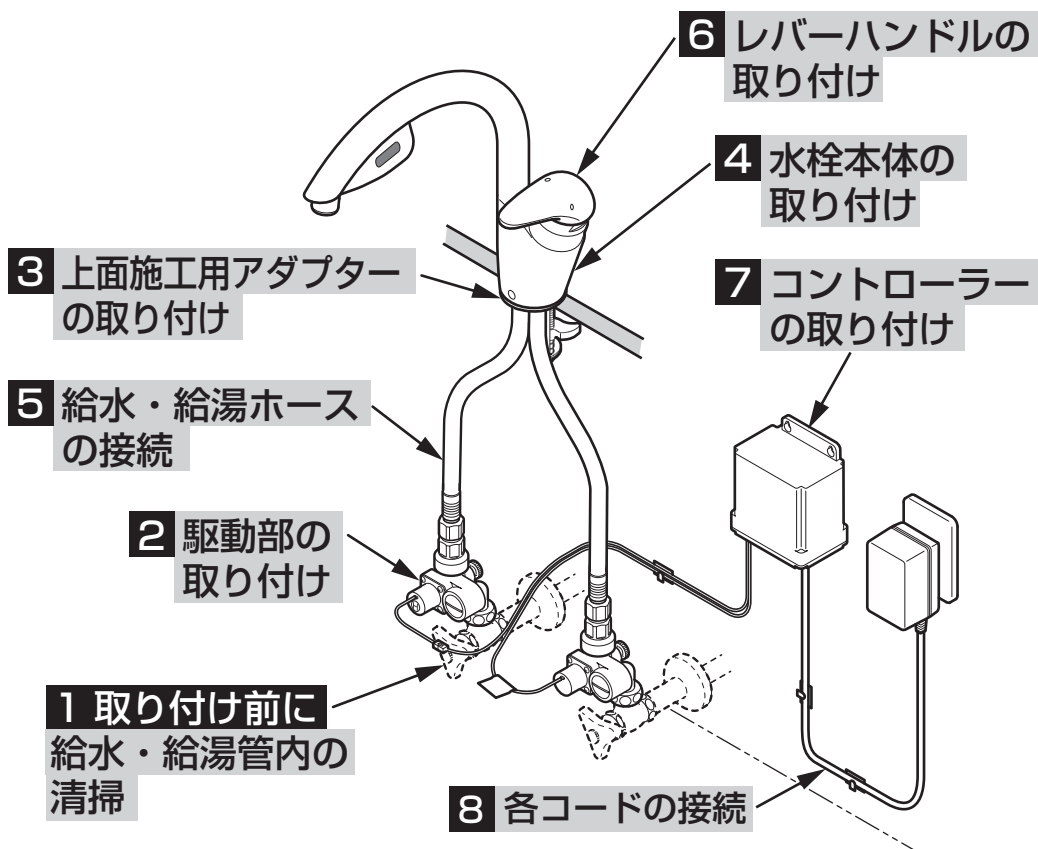
- 流量が少ない場合は、吐水口キャップを同梱の整流キャップに取り替えていただくよう、取扱説明書と一緒にお客様にお渡しください。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

5. 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



6-1. 施工手順



1 取り付け前に 給水・給湯管内の清掃

重要

止水栓を取り付け後、商品を取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

注意

給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などがフィルターや吐水口に詰まり、以下の事象が発生します。

- ①吐水量が少ない
- ②温度調節がうまくできない

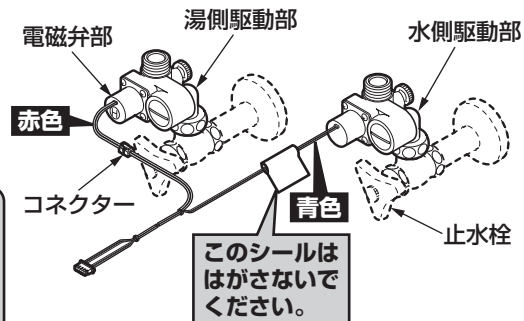
給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。

市販のフレキホースなどとバケツを準備し、止水栓に市販のフレキホースなどを接続して、ゆっくりと止水栓を開け、給水・給湯管内のごみ、砂などを洗い流してください。



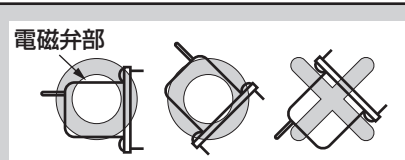
2 駆動部の取り付け

- ① 駆動部を止水栓に取り付ける。
- ② 湯側駆動部のコネクターを水側駆動部のコネクターに接続する。



注意

- 駆動部には、湯側（Hラベル・赤色コード）と水側（青色コード）の区別をしていますので、ご注意ください。
- 駆動部は、電磁弁部およびフィルターが正面になるように固定してください。取り合いし、正面にできない場合は、電磁弁部が必ず水平より上向きになるようにしてください。
- コネクターはロックするまで確実に差し込んでください。



3-1 上面施工用アダプターの取り付け

上面施工用アダプター施工上の注意点

- 上面施工用アダプターは、**正しく取り付け**てください。カウンター内への水漏れや、水栓本体の固定強度が低下して本体にガタが発生するなど、不具合の原因となります。
- ステンレス製カウンターで補強板がない場合は**固めの補強板（合板など）**を取り付けてください。
- 補強板が**十分乾燥した状態**で取り付けてください。
- 補強板に湿り気がある場合は水気をふき取り**ドライヤーで乾かして**ください。
- 取付面に**養生シート**などがあれば取り除いてください。
- 取り付け可能なカウンター穴径は $\phi 33 \sim \phi 39$ です。
- 電動ドライバーを使用する場合は、クラッチ作動トルクを**2~3.4N・mの範囲**に必ず設定してください。なお、クラッチ回転速度を**「低速」**にしないでください。トルクが大きくなり、器具が破損するおそれがあります。

裏面へつづく

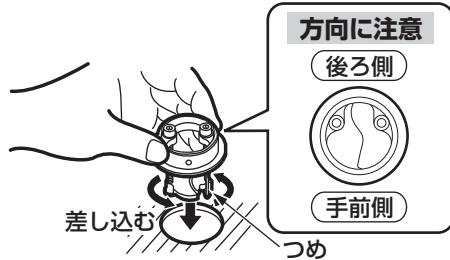
3-2 上面施工用アダプターの取り付け (つづき)

① つめを閉じた状態にする。

② 上面施工用アダプターをカウンターの穴に差し込む。

注意

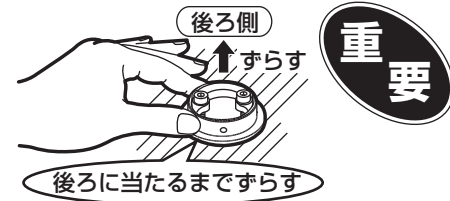
上面施工用アダプターの方向に十分に注意してください。



③ 後ろに当たるまでずらす。

注意

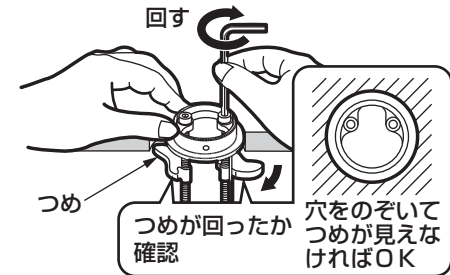
後ろにずらさないで水栓本体のガタツキ発生やカウンター内への水漏れのおそれがあります。



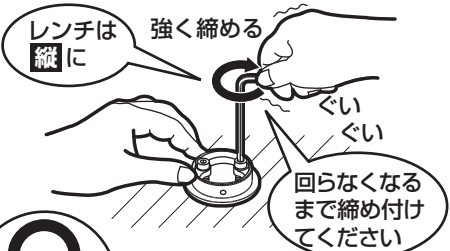
④ つめを広げる。

注意

締め付け後は、固定つめが回っていることを確認してください。固定つめが回っていない場合、一度ボルトをゆるめたあと、再度締め直してください。



⑤ 六角棒レンチを縦にしてボルトを左右均等に締める。

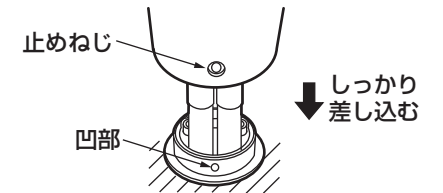


⑥ さらに六角棒レンチを横にしてボルトを1回転増し締めして確実に固定する。



4 水栓本体の取り付け

① 水栓本体の止めねじと上面施工用アダプターの凹部をあわせるようにしっかり差し込む。



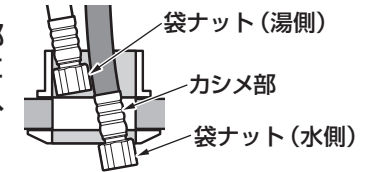
注意

水栓本体に浮きがないよう注意してください。

※水栓が入らない場合には、止めねじを少しゆるめてください。

ポイント

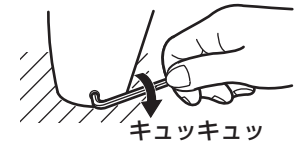
先に給水ホースを通し、給水ホースのカシメ部と給湯ホースの袋ナットが重ならないように通す。水栓本体を斜めに傾けながら給湯ホースを挿入するとスムーズに入ります。



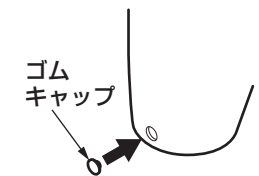
注意

ホースを上面施工用アダプターに通す際は、ホースが折れないように注意してください。ホースが折れると十分な流量が出ない場合や破損・水漏れのおそれがあります。

② 水栓本体の止めねじを締めて水栓本体を固定する。

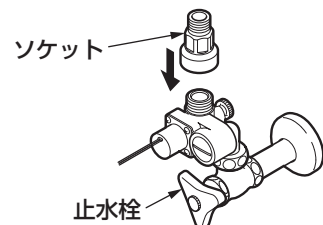


③ 止めねじの穴にゴムキャップを押し込む。



5 給水・給湯ホースの接続

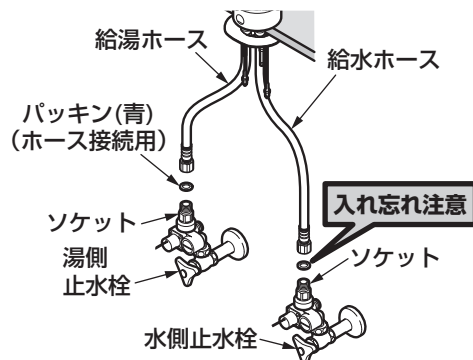
①ソケットを止水栓に固定する。



②給水・給湯ホースをソケットに接続する。

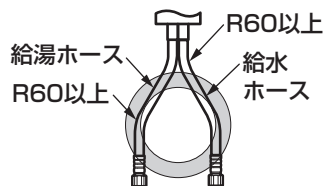
注意

- 給水・給湯ホースのゆるみ防止のため、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。



給水・給湯ホース施工上の注意点

- ホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意してください。ホースの最小曲げ半径は60mmです。それよりも小さく曲げて使用すると、ホースが折れ、十分な流量が出ない場合や破損・水漏れのおそれがあります。
- ホースを水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。
- ホースを無理に引っ張らないでください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の不要な接触は避けてください。外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。



6 レバーハンドルの取り付け

①ストッパーの浮きや外れがないか確認する。
 ※浮きや外れがある場合はカートリッジ側凸部とストッパー側凹部をあわせて押し込んでください。

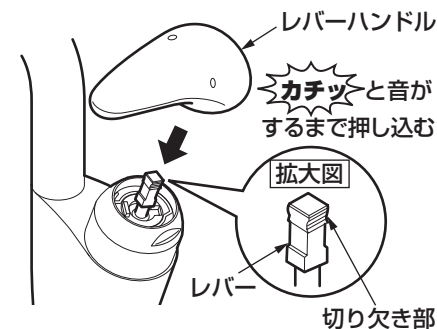
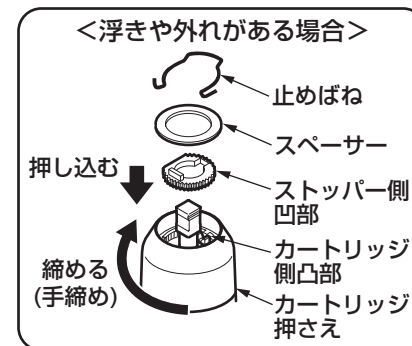


カートリッジ押さえ側の歯とストッパーの歯が合わないときは、カートリッジ押さえを**締め込む方向**にて歯をあわせるように調整してください。

- レバーハンドルとレバーの方向に注意し、押し込む。
- レバーハンドルが容易に抜けないことを確認する。

注意

レバーハンドルとレバーの切り欠きとの方向に注意してください。レバーの切り欠きは**両サイド**にあります。



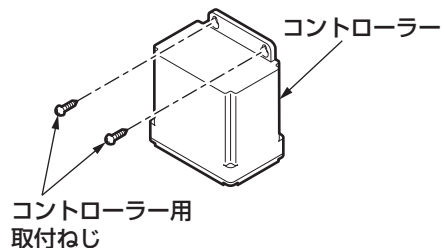
6-4.

7 コントローラーの取り付け

コントローラーをコントローラー用取付ねじ(2本)で、キャビネット内の横の面または奥の面に取り付ける。

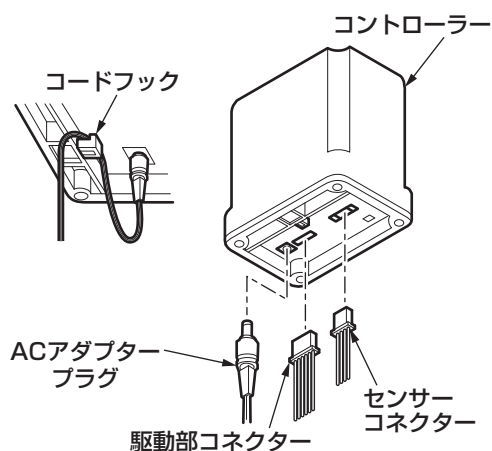
注意

- コントローラーは、駆動部よりも高い位置になるように取り付けてください。
- コントローラーは、上下逆向きや横向きに取り付けしないでください。



8 各コードの接続

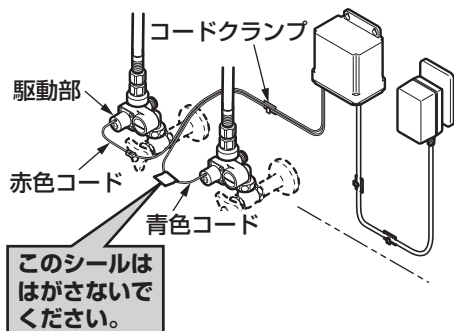
- ①各コードのコネクターをコントローラー下側のコネクターに確実に差し込む。
- ②ACアダプターのプラグをコントローラー下側のACジャック部に確実に差し込み、コードをコードフックに引っかける。



- ③同梱のコードクランプを使って、各コードをキャビネット内に固定する。

注意

全てのコードは安全のため、通水部に接触しないように固定してください。



7. 試運転および調節

1. 試運転

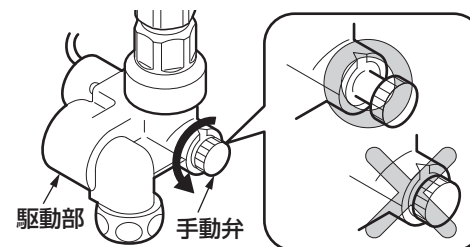
取り付けが完了したあと、次の方法で試運転を行ってください。

①電源を入れる

ACアダプターをコンセントに差し込んでください。

②手動弁の状態確認

駆動部にある手動弁が反時計回りいっぱいになっていることを確認してください。



注意

湯側の手動弁は熱くなっていることがありますので十分に注意してください。

③水を出す・止める

止水栓を開き、レバーハンドルを上げて吐水状態にしてください。(吐水状態でも水は出ません)

センサーに手を近づけると水が出ます。もう一度センサーに手を近づけると約1~2秒後に水が止まります。

④吐水状態の確認

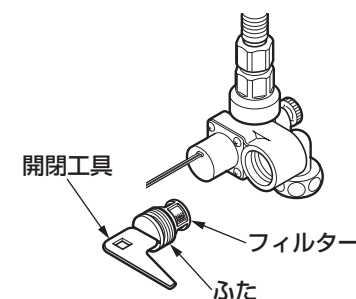
レバーハンドルを右いっぱいに戻すと水、左いっぱいに戻すと湯が出ることを確認してください。

2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。(詳しくは、取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照ください。)

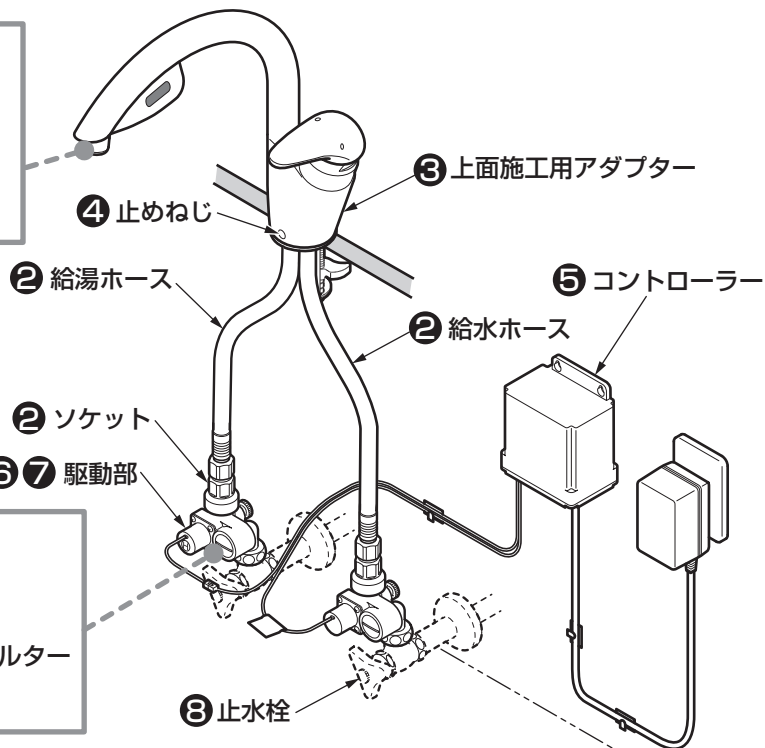
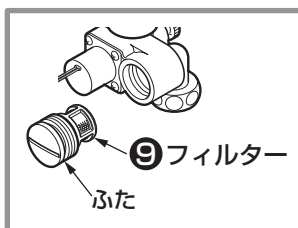
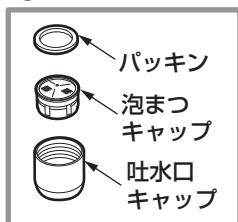
※フィルターを掃除する際は、**止水栓または元栓を確実に閉めたあと、ふたを外してください。**また、湯側駆動部が熱くないことを確認してください。



8. 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

⑨ 吐水口



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

① 駆動部の水漏れはないですか？

↳ 6.1.-2 駆動部の取り付け 参照

② 給水・給湯ホースは袋ナットでソケットに確実に接続されていますか？

↳ 6.3.-5 給水・給湯ホースの接続 参照

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

③ 上面施工用アダプターはしっかり固定されていますか？

↳ 6.1.-3 上面施工用アダプターの取り付け 参照

④ 水栓本体の止めねじのゆるみはないですか？

↳ 6.2.-4 水栓本体の取り付け 参照

コネクターの確認

コネクターがしっかり差し込まれているか確認してください。

⑤ コネクターはしっかり差し込まれていますか？

↳ 6.4.-8 各コードの接続 参照

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

⑥ 駆動部は逆に接続されていませんか？

↳ 6.1.-2 駆動部の取り付け 参照

⑦ 手動弁は左いっぱいに戻っていますか？

↳ 7 1. 試運転 参照

⑧ 止水栓は開いていますか？

↳ 止水栓で流量を調節する。
 多くなる (clockwise arrow) / 少なくなる (counter-clockwise arrow)

⑨ フィルター・吐水口のごみ詰まりはないですか？

↳ フィルター・吐水口の掃除をする。
 7 2. フィルターの掃除 参照



※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。